

印刷所 井上印刷所 電話773番

平塚市廣報

□ 平緩 280	□ 281	□ 282	□ 283
市長室、助役室 秘書課、稅務課	□ 會 教 育 課	□ 厚生 課	產業課、交付 收入役室 (夜間、日曜用)
□ 284	□ 19	□ 277	□ 849
警察事務局 消防本部	土木課 建築課	衛生課 選舉管理委員會事務局	庶務課、議會事務局 798 799(夜間用)
□ 119	□ 7. 287	□ 798	799(夜間用)
消防署	警察署	產業課	競輪場

B、日本は國際電氣通信連盟郵便運盟の完全な有資格加入國である。
 C、國際事務機構およびユネスコの事務所は、東京に設置され、それらの職員なら
 四、集會、集團行進又は集團示威運動の秩序保持に關する事項
 五、夜間の靜いつ保持に關する事項

させ、福岡および仙台の児

廿一日	二十日	十九日	十八日	月
(日)	(土)	(金)	(木)	

好成績の本市營
第二回 川崎競馬

新設第一回市営鐵輪の後を千數百萬円の益金
第二回市川崎鐵馬はことの出来たのは
昭和三十二年の秋、日晴天の好天候に恵まれ、
秋の總賣上金九千三百万圓の御褒賞の賜
を、平塚市民にと
て無事終了した。すると共に、
市復興の財源として、壹
しい御知らせ

平塚市營第二回川崎競馬馬券賣上表

種別 日別	單 勝 式	複 勝 式	連 勝 式	合 計	累 計	入場人員
第 1 日 12 月 8 日	458.000	616.100	13.529.500	14.603.600		7.179 人
第 2 日 12 月 9 日	322.700	567.200	13.596.300	14.486.200	29.089.800	6.806 //
第 3 日 12 月 10 日	567.900	1.101.600	20.692.200	22.361.700	51.451.500	12.092 //
第 4 日 12 月 12 日	423.000	621.600	13.959.400	15.004.000	66.455.500	6.923 //
第 5 日 12 月 13 日	349.500	498.000	13.454.700	14.302.200	80.757.700	6.568 //
第 6 日 12 月 14 日	329.500	398.800	11.992.200	12.720.500	93.478.200	6.291 //
計	2.450.600	3.803.300	87.224.300	¥ 93.478.200		45.859 //

十二月の議會メモ

四日教育委員會
市內各學校生徒の競輪見學
についで、の打合せと、學校
職員、の年末手當についで協
議した。

十一日及び十九日市議會開催
可決した議案の主なもの、
職員定數條例の一部改正、
職員臨時年末手當支給條例
歳入歳出追加更正予算。

新入學兒童

昭和十九年四月二
昭和二十年四月一日
た子供は、今年の四
小学校へ新たに入学
になります。調本
留手續のできていた
當數あるようです。

第二回

平塚競輪 報告

十二月三十一日より四日間
にわたつて開催された、市營
第二回平塚競輪は、初日より
悪天候に禍ふた、フアンの出
足は、予想外に不振、
車券の賣行額悪く、加うる
に第二日目より後樂園競輪、
川崎競馬同時開催という、最悪

昭和二十五年

一九五〇年世界セサスの一環として行われた昭和二十五年国勢調査は、去る十月一日午前零時現在を以て實施されたが、本市の調査結果概要は次の通りである。

尚ここに發表する世帯及人口は市要計表より推算した世帯、人口の概数であるから、後日政府で公表する確定数によつて訂正されるかも知れない。

◎人口總数：五二、三八八
十一月に於ける常住人口は、五二、三八八人である。

昭和二十三年八月一日現在の

常住人口調査の常住人口（四七、八〇九人）に比べると、四、五七九人（一ヶ月平均一七六人）の増加で其の増加率は九、六％である。

男、二五、八一二人
女、二六、五七六人
で昭和二十三年調査に比べ、男二、四四二人（増加率一〇、四％）女二、一三七人増加率は七、七％の増加でその増加数は男の方が一、三〇五人多くなつてゐる。

次に性比をみると昭和二十三年調査は男一〇〇に對し女一〇四であつたが、今回は男一〇〇に對し女一〇三となつてゐる。

人口密度の点では昭和二十三年調査では一万平方町當り人口四・三八八人で今般は四・八二〇人と國內でも高度の人口密度を示している。

◎世帯總數：一・一、二五三・一〇、十一月に於ける世帯總數は一・一五三・三三〇、昭和二十三年調査は一・〇、三七一・七二〇、この間に對し九三六世帯増加で一世帯當り人口は昭和二十三年調査四、六人が今回の調査では四、七人となつてゐる。一ヶ月平均三六世帯の増加を示している。

◎各大字別人口及世帯數

こうした時には
登記をお忘れないよう

平塚の二二、三六四人が最も多く、世帯は四、八九〇。 次に平塚新宿の一四、三三〇人、世帯が三、一〇〇で、須賀二、八八七人、世帯二、四八二。 馬八三、八〇七人で、世帯七一の一の順になっている。 次に學區別の世帯人口をみると、 △崇善小学校區域 世帯數 三、三九四 人口 一五、六三〇 内(男 七、七五五人) 内(女 七、八七五人) で最高次で	△港小學校區域 世帯數 二、四六五人 人口 一一、八七八 内(男 五、八一七人) 内(女 六、〇六一人) △富士見小學校區域 世帯數 二、四六〇 人口 一一、六一三 内(男 五、八七六人) 内(女 五、七七八人) △花水小學校區域 世帯數 二、一八三人 人口 九、四六〇 内(男 四、六〇八人) 内(女 四、八五二人) △松原小學校區域 世帯數 七、五一一人 人口 三、八〇七 内(男 一、八九五人) 内(女 一、九二二人) の順になっている。
--	---

税金、税金—の世の中で。私達は定められた法規には従はなければ、財産權の保護は受けられません。

平塚市の皆さんの中には、こんな方はありませんか。

一、土地や家を所有して居りながら、今迄家屋税や地租又は昭和二十五年度分の固定資産税が賦課されない人

二、家屋が戦災や取壊しなどの原因で、實在しないもの

→家屋税や固定資産税が賦課されず、

四、バラックを改築した人
又は構造を變えた方。
右の様な方々は家屋台帳及土地台帳法の定める處へ登記所（横浜地方事務センター）へ申告しなければなりません。

これは原因發生の日より一ヶ月以内に申告する義務あり、若しその義務者が申告を怠つた時は、一万圓以下を怠りとして罰せられることとなつてゐる。

状態を調査致すことがありますので、あなたの家の家の家屋台帖登録番号を覚えておいて下さい。

(大磯登記所)

農業災害補償法

施行三周年をむかえて

農災法の施行により、全國の市町村に農業共済組合が設立せられ膨大な國庫負擔の下に農作物家畜蠶繭農家の四共済事業により、農業保護政策が開始されてから滿三年を過ぎ致しました。此間種々制度の改革が行われ共済事業の強化擴充が行われました事は、農家の皆様に共に喜びにたへない所でありました。

然るに一部農家には、未だ同法の趣旨を解せず、共済事業に對して協力的態度の乏しき者がある事は甚だ遺憾であります。今次皆様より御提出願ひました二十六年産麥の共済細目書に致しまして、市役所の割當面積に比し過小報告の向も相當有るように見受

さい。尙申告に際しては、市役所稅務課を経由して下さい。

成災は誠に目撃し難くのがありまして一例を本縣に見ても本年産麥は異常なる天候不良により其被害面積は二万六千四百町歩となり支拂共済金は七千七百圓の巨額に達して居ります。又家畜に於いても、今次全縣下に暴風を振りました流感による乳牛及び牛の死亡数は、二百五十頭を數へ支拂共済金は九百萬元と言ふ狀況であります。尙又家畜に於ても本年内に發生した火災は八十五件となり之又十萬圓と言ふ共済金を支拂つて居る様な現状であります。當市に於きましても、農作物共済に於て毎年相當な被害に上り、支拂共済金は常に共済金に反するものならず、強ひては至急御訂正願ひ度いのであります。又家屋共済に致しまして、他の保險會社に比し半額の掛金にて加入出來てゐる事は皆御承知の通りであります。縣聯合會に於きましては一月中に百%完遂を目指して目下加入推進中であります。當市に於きましては過日の役員會議により全戶加入を決議致しましたので、此の際至急御申込願ひと共に本事業發展の爲全臨の御支持有ら

主要食糧セクタ
ク購入切符
(クーポン券)の
使ひ方

麥製品がクローボン制になり、年から全国どの配給業者でもクローボン祭と引換えるパン、生めん、ゆでめん、雑穀類、生めん、小麦粉、精麥（燕麥）及びライ麦の精白したものを含む）が自由に選んで買える。そしてパン、めん類外は、祭食ならクローボン祭と引換えるパン、めん類の食事が全部られます。

小賣販賣業者甲
えの登録に就て
主要食糧のうちパン、生めん
を除く主食を取扱う小賣販賣
業者（小賣販賣業者甲とい

なります。はすべて民間の経営です。このため一月十五日から二二日まで一日までの間に、自分が配してもらおうとする小賣販賣業者甲を、自分で選んで登録することをしました。

この小賣販賣業者甲は三月一日から配給の仕事をはじめ一年間はその登録を受けたものに配給をし、又登録をした者はその小賣販賣業者甲か買わなければなりませんの

所(揭示板で指定します)に行つて自分が登録しようとする小賣販賣業者甲の登録台帳へ自分を合せて、合計何人と世帯人數を記入して署名捺印して下さい。

小賣販賣業者乙
(パン、めん小賣販賣業者)
の業者登録に就て
主要食糧セクタ購入切符
(クーポン券)と引換えに、
賣業者乙及びめんを配給する小賣販賣業者は三月一日より登録を
新になりますから業者登録を
受け申請書をするものは業者乙
登録申請書とする十五日より
九月迄の間に提出して下さい

圖書館だより

最近新しく入りました本を御紹介します。

書名 著者名

戦争と平和の史	現代語辞典	商業概論	民族學入門	原子力と私生活	現代語辭典	學生のための書	アメリカ史
分折語辭典考	國際條約集	中國共產黨	二つの世界	東西文明史論考	哲學用語辭典考	哲學用語辭典考	戰争と平和の史
高山岩谷新三著	横田清三著	高桑純祐著	小島祐西著	上野西三著	後藤西三著	篤内芳雄著	北川芳雄著
幸田冬彦著	鈴木耕一著						

大岡周

種別		昭和二十五年人口と昭和二十三年人口との比較				昭和二十三年常住人口調査				昭和二十五年人口調査			
		世帯數		總數		世帯數		總數		世帯數		總數	
大別	小別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平塚	平塚新宿	四、八九〇	三、三六四	一、〇二四	一、三四〇	四、三九三	一、八九八	九、六九五	一、〇、一六三	二、四九七	二、五〇六	二、二六六	二、一七七
平塚	須賀	三、一三〇	一、四三三	七、〇七一	七、二五九	二、八〇一	二、八七五	六、三二六	六、五四九	二、三三九	二、四五五	二、七四五	二、〇八〇
平塚	馬入	二、四八二	一、八八七	五、八二三	六、〇六五	二、四二一	一、四五六	五、五六三	五、八九三	二、一七九	二、四三一	二、一五九	二、一七二
平塚	馬入	七五一	三、八〇七	一、八九五	一、九一二	七二二	三、六二〇	一、七八六	一、八三四	五、三九	五、一八七	六、〇一九	四、七八
平塚	塚市	一、二五三	五、三八八	二、二五五	八、二二六	三七七	八、〇九三	三、七二〇	四、四三九	四、九三六	五、七九	二、四四二	一、八三七

法律學概論	アメリカ方式と 對決する今式との 問題二十五講日田	健康の百講辭典 スボーク醫學的の	生きている道	若き人々の悩み 中学生の学力ナ スト	日本史辭典 英語實典 人はどうして出 來たか 當用漢字ハンド	哲學教程 米ノ文藝辭典は 世界文學戰兢 全國調査總覽 社會調查法入り 皇道小説談話 器械の話 都市の發達 工業革命と文字 ことば省規 文部省規 總覽	ジャック・ロラン 統計的話寫 讀本集成 愛の渴望 社會環境論 人間と環境 祖母のものがたり おしや風土誌 オリエンタル 健康の百科辭典 なまむしうさぎ 家なき兒 小公子 受すべし 愛すればこそ 小閒使日記 英文本勝法 釣魚入門 學生木郎傑作選 佐々木邦樹 天然色写真の心身 改造から 少年衛生工作 公衆衛生氣の作 受理 受精神の研究 私達陽明實踐科學 天太陽の誕生と死 天文學概観 少年學概論	森田 優三 考古學研究會編 三島由紀夫 宮本 忍新 中村ヒロシ 杉捷夫譯 早 橫 曙 光 夢 自由國民政社 北川 雄二 大木 千代 池田宣政 窪田章一 久保康雄譯 熊 旺 清 方 藤 愛 好 佐藤 壱石 伊丹安廣 長 佐 木 吉 杉本 清作 山北榮一郎 白石信尚外譯	林 信雄 林 信雄 川畑 敏 松山 敏 松山 敏 諏訪德太郎 須藤 兼吉 神戶伊三子 松坂、忠則 出 京 正 隆 東京 省義 文庫部 三野 花 亮 田崎 三太郎 東山村太夫 村上松繁樹 村松 三修 小黒 興 小石 黑與	羅馬ン・ロラン 森田 優三 考古學研究會編 三島由紀夫 宮本 忍新 中村ヒロシ 杉捷夫譯 早 橫 曙 光 夢 自由國民政社 北川 雄二 大木 千代 池田宣政 窪田章一 久保康雄譯 熊 旺 清 方 藤 愛 好 佐藤 壱石 伊丹安廣 長 佐 木 吉 杉本 清作 山北榮一郎 白石信尚外譯	谷 眞寶 荒井龍飛 馬場謙
-------	---------------------------------	---------------------	--------	--------------------------	--	---	---	---	---	--	---------------------